



館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 3 月 9 日 (日)

発行 館長 加藤 智 一

贈る言葉

出典は申し上げられませんが、私の言葉でないのは事実。人のふんどしで相撲を取るがごとき所業にて、大変申し訳ないのですが、これを読むと、人生少しは気が楽になる方も多いはず。

(1) 年齢を重ねて思う「心に刻みたい真理」

- ・過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる。
- ・後悔は過去を変えようとする。反省は未来を変えようとする。
- ・努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。
- ・相手に期待しない。相手を変えようとしない。
- ・自分で考えた答えが正しくても、他人の答えが間違いとは限らない。
- ・子どもは思っているほど子どもではない。大人も思っているほど大人でない。
- ・たくさん道に迷った者が一番多くの道を知る。
- ・「ありがとう」と言った数だけ人生は豊かになる。
- ・難が無ければ「無難」な人生。難が有ってこそ「有難い」人生。

(2) 覚えておいて！ あなたが成長すると必ずおきる こと

- ・人は同じ精神性を持った人が、結びつくようになっている。あなたが色々経験をし、挫折や困難を乗り越え、人間として深くなればなるほど、あなたから「去っていく人」が増えていきます。そんな去っていく人を絶対に追わないでください。なぜなら、その縁は、今のあなたに必要な縁だから。無理に追うことは、あなたも相手も傷つけます。その代わりに、新しい出会いもあります。「全てはご縁」。切れる縁より、繋がる縁を大切に、自分に嘘をついたり、切れるべき縁に執着すると、望まない現実が繰り返されてしまいます。

(3) 泣いても笑っても「人生一度きり」

- ・他人の目を気にして、心が落ち着かない日もある。嫌いな人のことを考えて、心が乱れる日もある。嫌いなことを言われて心が沈む日もある。まだ起きていない「もしも」を考えて心が曇る日もある。ふとした瞬間に心が重くなる日もある。でも、そ

んなことに時間を費やすほど人生は長くない。時は思っている以上にあつという間に過ぎていく。だからどんな時でも自分の心に正直に生きよう。自分の想いがあるなら、今、この瞬間を大切にしよう。「あの時・・・」と後悔しないためにも。泣いても、笑っても「人生は一度きり」なのだから。

(4) 考え方が変わる「心に響く言葉」

- ・上手くいったら自信。上手くいかなかったら経験。
- ・できないと思えばその通りになり、できると思えば可能性が生まれる。
- ・思った通りにはならないが、やった通りにはなる。
- ・口だけなら信用を失い、行動すれば信頼される。
- ・他人に期待すればイライラし、自分に期待すればワクワクする。
- ・不満を数えれば不幸になり、幸せを数えればもっと幸せになる。
- ・あなたを苦しめた高い壁は、今度はあなたを守る盾になる。
- ・誰かの勝ち、あなたの負けではない。
- ・誰かの得、あなたの損ではない。
- ・真剣になれば、でも深刻にはなるな。

(5) 胸に手を当てて聞いてみて。「他人の人生」生きて いませんか？

- ・自分の人生ってどんな人生でしょう？人の数だけ「普通」があり、人の数だけ「当たり前」があります。その人しかわからない「悲しみ」やその人にしかわからない「喜び」もあります。だれにでも「得意不得意」があり、誰にでも「好き嫌い」があります。自分の「こだわり」は周りには関係なく、他人の「こだわり」も自分には関係ありません。そう、自分と他人は違って当然です。だから他人に対して嫉妬する必要はありません。自分と他人の違いを悪く考えずに、その「違い」を楽しめれば、もっともっと人生は楽しくなります。忘れてませんか？あなたの人生は、あなたが主役です。

